

# 高松市学校給食調理場の整備について

高松市教育委員会 保健体育課

# I 本市学校給食調理場の現状について①

高松市の学校給食調理場（34施設）は、センター方式・単独方式・親子方式の3つの方式により管理・運営しており、学校に併設されていないセンター方式が7施設、学校併設調理場として単独方式が17施設、親子方式が10施設ある。

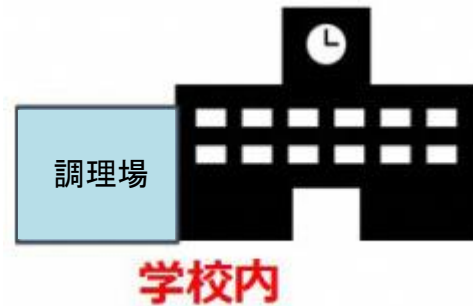
## 調理場における3つの方式（34施設）

### センター方式



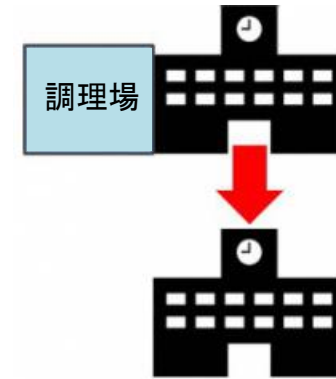
山田学校給食共同調理場  
 牟礼学校給食共同調理場  
 庵治学校給食共同調理場  
 香川学校給食共同調理場  
 香南学校給食共同調理場  
 朝日新町学校給食センター  
 六条町学校給食センター

### 単独方式



太田学校給食調理場	中央学校給食調理場
木太学校給食調理場	木太南学校給食調理場
前田学校給食調理場	古高松南学校給食調理場
三溪学校給食調理場	屋島東学校給食調理場
仏生山学校給食調理場	屋島西学校給食調理場
川岡学校給食調理場	国分寺北部学校給食調理場
檀紙学校給食調理場	国分寺南部学校給食調理場
弦打学校給食調理場	国分寺中学校給食調理場
鬼無学校給食調理場	

### 親子方式



鶴尾学校給食共同調理場	円座学校給食共同調理場
古高松学校給食共同調理場	下笠居学校給食共同調理場
屋島学校給食共同調理場	太田南学校給食共同調理場
香西学校給食共同調理場	木太北部学校給食共同調理場
一宮学校給食共同調理場	塩江学校給食共同調理場

# I 本市学校給食調理場の現状について②

## ■建物の状況（2-1）（令和4年4月1日現在）

### 【センター方式】

No	施設名	建築年度	床面積 (㎡)	階数	耐震化 (耐震改修)	ドライ化	老朽化 (築年数)
1	山田学校給食 共同調理場	平成5	422.00	1	不要	半ドライ	29
2	牟礼学校給食 共同調理場	昭和51	415.23	1	未実施	ウエット	46
3	庵治学校給食 共同調理場	昭和55	300.00	1	未実施	半ドライ	42
4	香川学校給食 共同調理場	昭和54	1,070.15	2	未実施	半ドライ	43
5	香南学校給食 共同調理場	昭和59	413.88	1	不要	ウエット	38
6	朝日新町学校 給食センター	平成20	3,236.16	2	不要	ドライ	14
7	六条町学校 給食センター	令和1	3,307.56	2	不要	ドライ	3

### 【単独方式】

No	施設名	建築年度	床面積 (㎡)	階数	耐震化 (耐震改修)	ドライ化	老朽化 (築年数)
1	太田学校 給食共同調理場	昭和39	283.00	1	改修済	半ドライ	58
2	木太学校 給食調理場	昭和47	258.00	1	未実施	ウエット	50
3	前田学校 給食調理場	昭和54	201.00	1	未実施	ウエット	43
4	三溪学校 給食調理場	昭和53	162.00	1	不要	ウエット	44

No	施設名	建築年度	床面積 (㎡)	階数	耐震化 (耐震改修)	ドライ化	老朽化 (築年数)
5	仏生山学校 給食調理場	昭和53	201.00	1	未実施	ウエット	44
6	川岡学校 給食調理場	昭和57	162.00	1	不要	ウエット	40
7	檀紙学校 給食調理場	昭和57	201.00	1	不要	ウエット	40
8	弦打学校 給食調理場	昭和59	201.00	1	不要	ウエット	38
9	鬼無学校 給食調理場	昭和53	235.00	1	未実施	ウエット	44
10	中央学校 給食調理場	平成1	251.00	1	不要	半ドライ	33
11	木太南学校 給食調理場	昭和51	235.00	1	未実施	ウエット	46
12	古高松南学校 給食調理場	昭和54	202.00	1	改修済	ウエット	43
13	屋島東学校 給食調理場	昭和55	162.00	1	不要	ウエット	42
14	屋島西学校 給食調理場	昭和57	201.00	1	不要	ウエット	40
15	国分寺北部学校 給食調理場	昭和56	258.00	1	不要	ウエット	41
16	国分寺南部学校 給食調理場	昭和53	277.00	1	未実施	半ドライ	44
17	国分寺中学校 給食調理場	昭和57	254.00	1	不要	ウエット	40

# I 本市学校給食調理場の現状について③

## ■建物の状況（2-2）（令和4年4月1日現在）

【親子方式】

No	施設名	建築年度	床面積 (㎡)	階数	耐震化 (耐震改修)	ドライ化	老朽化 (築年数)
1	鶴尾学校給食共同調理場	昭和48	273.00	1	未実施	半ドライ	49
2	古高松学校給食共同調理場	昭和49	283.00	1	未実施	半ドライ	48
3	屋島学校給食共同調理場	昭和56	283.00	1	不要	半ドライ	41
4	香西学校給食共同調理場	昭和54	283.00	1	改修済	半ドライ	43
5	一宮学校給食共同調理場	昭和52	263.00	1	改修済	半ドライ	45
6	円座学校給食共同調理場	昭和56	251.00	1	不要	半ドライ	41
7	下笠居学校給食共同調理場	昭和55	226.12	1	改修済	半ドライ	42
8	太田南学校給食共同調理場	昭和50	283.00	1	未実施	半ドライ	47
9	木太北部学校給食共同調理場	平成2	301.00	1	不要	半ドライ	32
10	塩江学校給食共同調理場	平成25	276.00	1	不要	ドライ	9

### ■ 課題

#### ① 施設の老朽化

全34施設のうち、26施設が40年以上経過しており、設備・調理機器等の老朽化は切迫した状態になりつつある。衛生上又は作業上の重大な問題が生じる恐れが強くなっており、早急に対策を講じる必要がある。

#### ② 衛生管理の強化（ドライシステムの導入等）

学校給食衛生管理基準により求められているドライ施設として整備していく必要がある。ドライ施設として整備するためには、現在の2～3倍の調理場面積が必要であり、その敷地確保が課題となる。

#### ③ 児童生徒数の変動への対応が必要

#### ④ 食物アレルギー対応の推進

#### ⑤ 労働環境の改善（空調設備の整備）が必要 など

## ◆ 「高松市学校給食調理場整備指針」 (H25.1策定)

### ① 調理場整備に当たっての基本的方向性

- ・ 数校まとめて給食調理を行う **センター方式としての整備を基本**とする。
- ・ センターの規模は、**最大実食数、3,000～6,000食を基本**とする。
- ・ 衛生管理の徹底（ドライ施設）
- ・ 受配対象校の適切な決定（2時間以内喫食の水準確保）
- ・ 栄養教諭等の適正配置、学校とセンターとの連携
- ・ 地場産物の使用拡大、食物アレルギー対応、献立の多様化などへの対応
- ・ 効率的な実施のため、受配対象校の学校内設備の整備 など

### ② 調理場整備の優先度

- ・ 児童生徒数の増加に対応しきれなくなっている調理場、**老朽化が深刻な調理場から優先して整備**していく。



## ◆ 「高松市学校給食調理場整備計画」 (R3.3策定)

### (1) 計画策定の目的

本計画は、「高松市学校給食調理場整備指針」及び「高松市学校施設長寿命化計画」に基づき、学校給食調理場34施設について、**施設の老朽度や緊急性、今後の児童生徒数の推移などを踏まえながら、各調理場の統合を含め、具体的な整備内容等を定める**もの。※「整備計画」P34・P35参照

### (2) 計画期間

**令和3年度から令和9年度までの7年間に計画期間**とする。

なお、施設の老朽度や緊急性、今後の児童生徒数の推移を踏まえながら、「高松市学校施設長寿命化計画」の見直し時期に合わせ、原則5年ごとに見直しを行い、整備を進めていく。

### (3) 今後の対応と方針 (抜粋)

① 基本的な考え方 (統合の方向性) ※「整備計画」P34・P38・P39参照

■ 牟礼学校給食共同調理場 ⇒ **新たに整備し、庵治学校給食共同調理場と統合する。**

■ 香南学校給食共同調理場 ⇒ **新たに整備し、香川学校給食共同調理場と統合する。**

**※用地については、いずれも新たな用地 (市有地利用) を確保**

② 各小・中学校に併設する調理場

上記記載の「整備指針」及び「長寿命化計画」に基づき、周辺調理場の老朽化、児童・生徒数等を勘案しながら、数校まとめて給食調理を行うセンター方式として整備することが適当。ただし、各学校の位置や周辺環境などにより、現状の方式での運用も考慮する必要がある。

③ その他設備

■ 耐用年数が経過した設備等の更新や各調理場の空調設備の整備。

# V 牟礼及び庵治学校給食共同調理場の現状について

庵治学校給食共同調理場



★ 調理場

◎ 小学校

■ 中学校

▲ 幼稚園

## 施設概要

施設名称	牟礼学校給食共同調理場	庵治学校給食共同調理場
所在地	高松市牟礼町大町 1 5 7 6 - 1	高松市庵治町 7 8 2 - 2
開所年	1 9 7 6 年 (昭和 5 1 年)	1 9 8 0 年 (昭和 5 5 年)
担当校	小学校3校、中学校1校、幼稚園2園	小学校1校、中学校1校
実施食数	約 1, 4 0 0 食	約 2 5 0 食

## 児童生徒数推移 (想定)

【高松市学校給食調理場整備計画より抜粋】

学校名	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
牟礼小学校	272	259	248	241	230
牟礼北小学校	414	406	394	376	347
牟礼南小学校	192	186	180	165	158
牟礼中学校	504	477	453	453	441
<b>牟礼地区合計</b>	<b>1,382</b>	<b>1,328</b>	<b>1,275</b>	<b>1,235</b>	<b>1,176</b>
庵治小学校	151	141	135	121	108
庵治中学校	87	77	82	80	81
<b>庵治地区合計</b>	<b>238</b>	<b>218</b>	<b>217</b>	<b>201</b>	<b>189</b>



牟礼学校給食共同調理場



# VI 香南及び香川学校給食共同調理場の現状について

## 香南学校給食共同調理場



- ★ 調理場
- ◎ 小学校
- 中学校
- ▲ 幼稚園



香川学校給食共同調理場

## 施設概要

施設名称	香南学校給食共同調理場	香川学校給食共同調理場
所在地	高松市香南町横井 800-I	高松市香川町浅野 1283-3
開所年	1984年 (昭和59年)	1979年 (昭和54年)
担当校	小学校1校、中学校1校	小学校3校、中学校1校、幼稚園1園
実施食数	約500食	約1700食

## 児童生徒数推移 (想定)

【高松市学校給食調理場整備計画より抜粋】

学校名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
香南小学校	331	294	280	256	241
香南中学校	185	199	188	188	154
<b>香南地区合計</b>	<b>516</b>	<b>493</b>	<b>468</b>	<b>444</b>	<b>395</b>
大野小学校	417	434	438	424	400
浅野小学校	356	339	312	289	261
川東小学校	289	275	274	259	234
香川第一中学校	585	540	536	541	558
<b>香川地区合計</b>	<b>1,647</b>	<b>1,588</b>	<b>1,560</b>	<b>1,513</b>	<b>1,453</b>

### (1) 安全で安心な学校給食の確保

学校給食衛生管理基準に適合するとともに、HACCP（危害分析重要管理点方式）の概念を取り入れ、食材や調理したもの、食缶、食器等の流れや調理員等の人の流れについて、明確かつ厳密な管理区分を設けるなど、徹底した衛生管理とリスク削減に努める。

### (2) 給食サービスレベルの向上、食物アレルギー対応の実施

保護者をはじめ、地域住民の学校給食に対する理解を深めるため、地産地消の取組、栄養指導等を強化し、一層の食育推進の検討を行う。また、児童生徒の身体状況を適切に把握するとともに、きめ細かな対応を行い、食物アレルギーへの対応にあたっては、学校、保護者と十分な情報共有を図りながら、アレルギー原因物質の除去食の提供等を行う。

### (3) 労務環境及び環境負荷への配慮

働きやすく快適な職場環境とするとともに、無駄のない効率的な作業空間の実現を図る。学校給食センターは、公共施設としての位置づけから、地球環境にも配慮し、調理機器等の省エネルギー化、廃棄物の減量とリサイクルへの取組等、環境負荷の軽減等について十分検討した上で、設備の充実を図るものとする。

### (4) 学校等と連携した給食づくり

献立委員会等を通じて学校等と連携し、質の高い学校給食の提供を行っていく。

### (5) 将来にわたり安定かつ効率的な給食体制の構築

本市の子どもの数は、今後減少していくことが見込まれていることから、施設の集約を図り、効率的な給食が運営できる給食体制や施設づくりを進める。

また、他の調理場において大規模改修を行う場合や、事故等の不測の事態が発生した場合においても、代替施設において安定的に給食を提供する等、可能な限りリスク回避が出来る施設や体制づくりを行う。

## 1 建設候補地について

⇒ 「高松市学校給食調理場整備計画」において、下記記載の調理場は、統合の方針が決定されている中、**新設する調理場の建設候補地**について、各委員からの御意見をいただき、あらゆる角度から検討する必要がある。

また、建設候補地の選定に当たっては、牟礼・庵治、香南・香川の各調理場のみの統合に限らず、周辺調理場や他の受配対象校を取り入れることなどを検討していく。

- 牟礼学校給食共同調理場 ⇒ **新たに整備し、庵治学校給食共同調理場と統合する。**
  - 香南学校給食共同調理場 ⇒ **新たに整備し、香川学校給食共同調理場と統合する。**
- ※用地については、いずれも新たな用地（市有地利用）を確保**

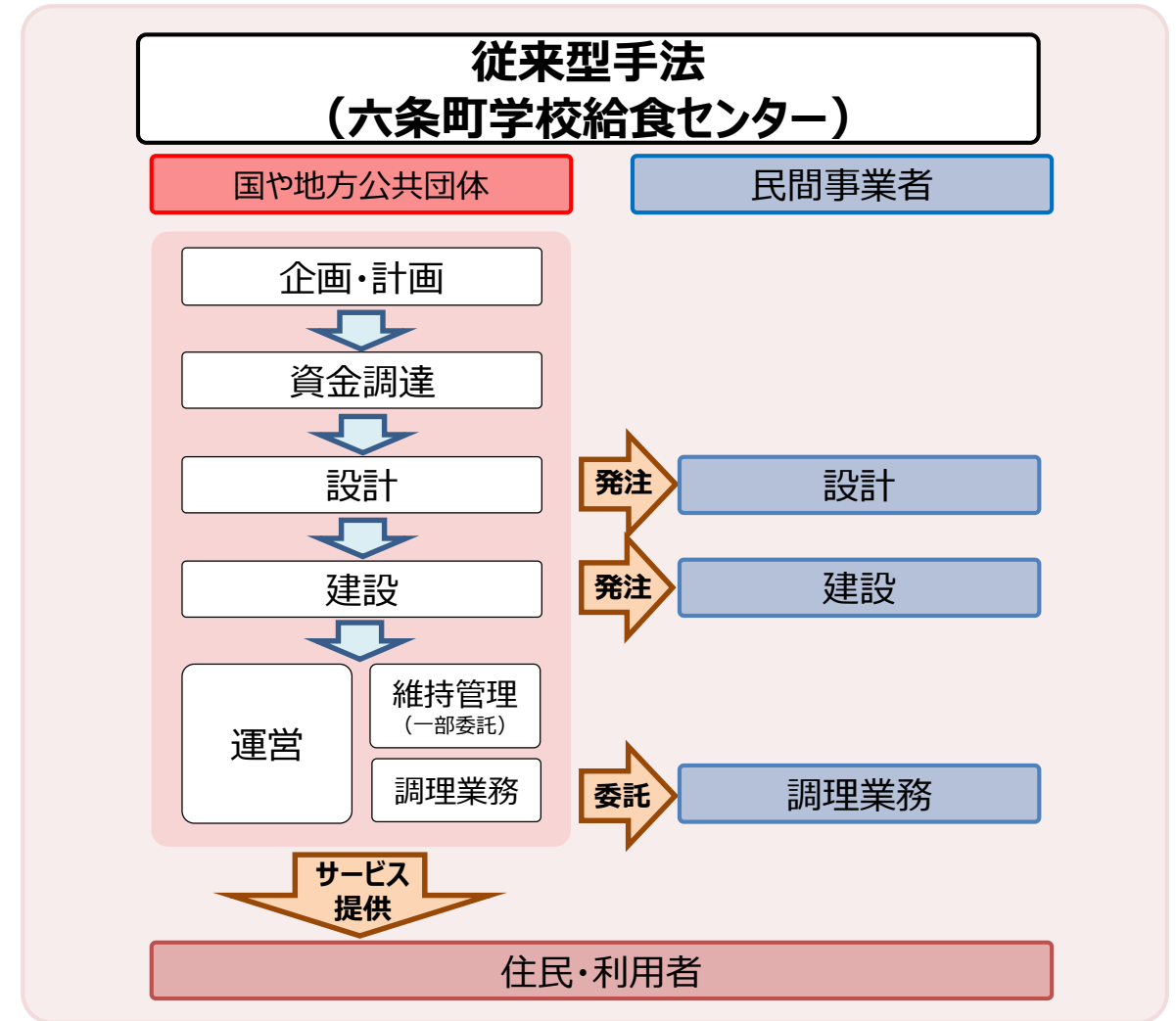
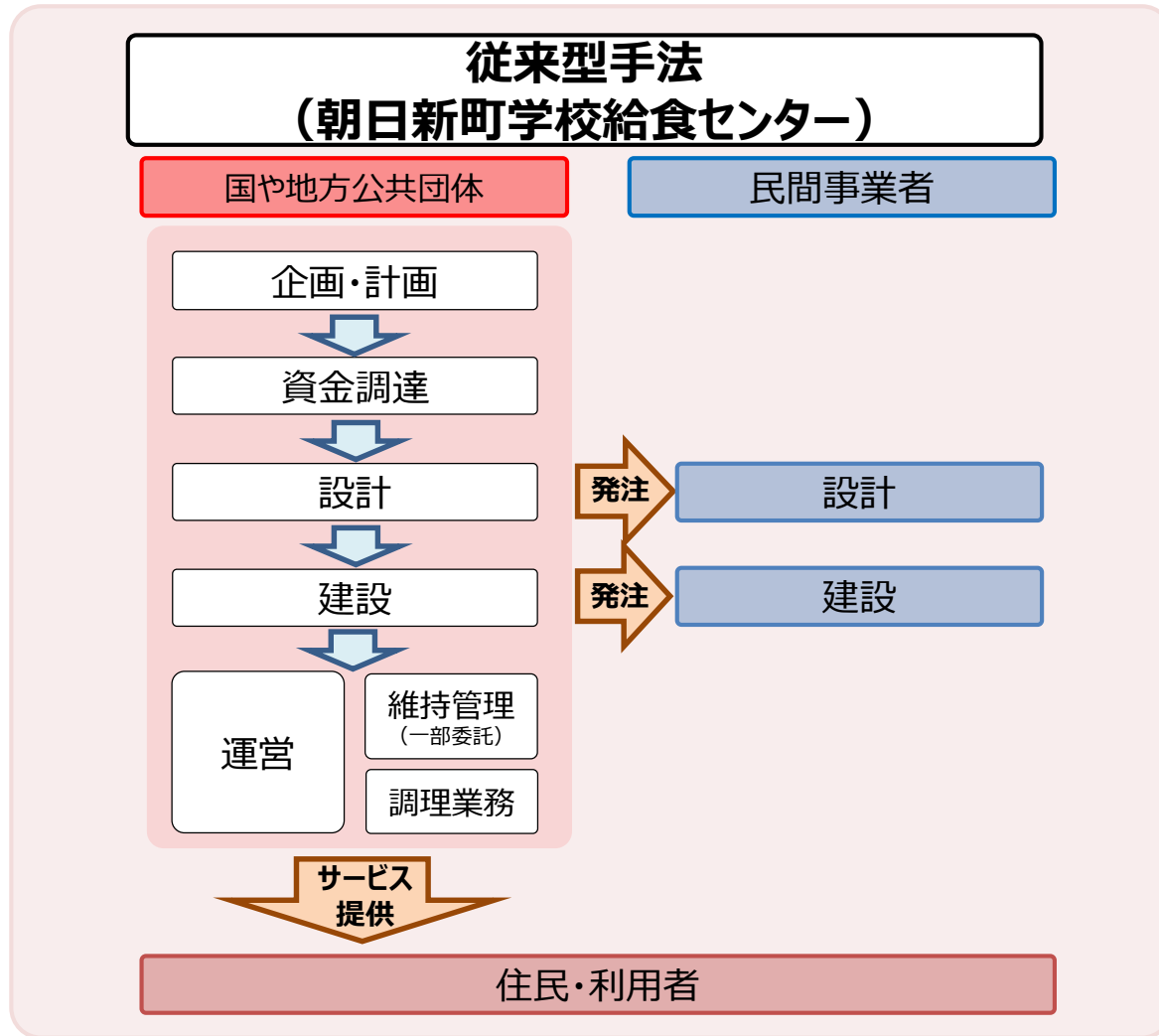
## 2 事業方式について

⇒ 学校給食調理場の整備に当たっては、施設の設計・建設・維持管理・運営をすべて公共事業で行う従来型手法や、民間資金や経営ノウハウ等の民間活力を活用する P P P / P F I などの事業手法について検討していく。

今後においては、基本計画（個別）策定や P F I 等導入可能性調査を実施していくことを想定しており、建設候補地と同様、各委員からの御意見をいただき、**本市にとって最適な事業手法により、調理場整備が実現できるよう検討**していきたい。

※ 「高松市 P P P / P F I 手法導入優先的検討規程」において、建築物の整備等に関する事業のうち、①建設等に係る事業費の総額が 10 億円以上の事業又は、②単年度の運営等に係る事業費が 1 億円以上の事業については、P P P / P F I 手法の導入が適切かどうかを従来型手法に優先して検討することとされている。

## 従来型手法の特徴



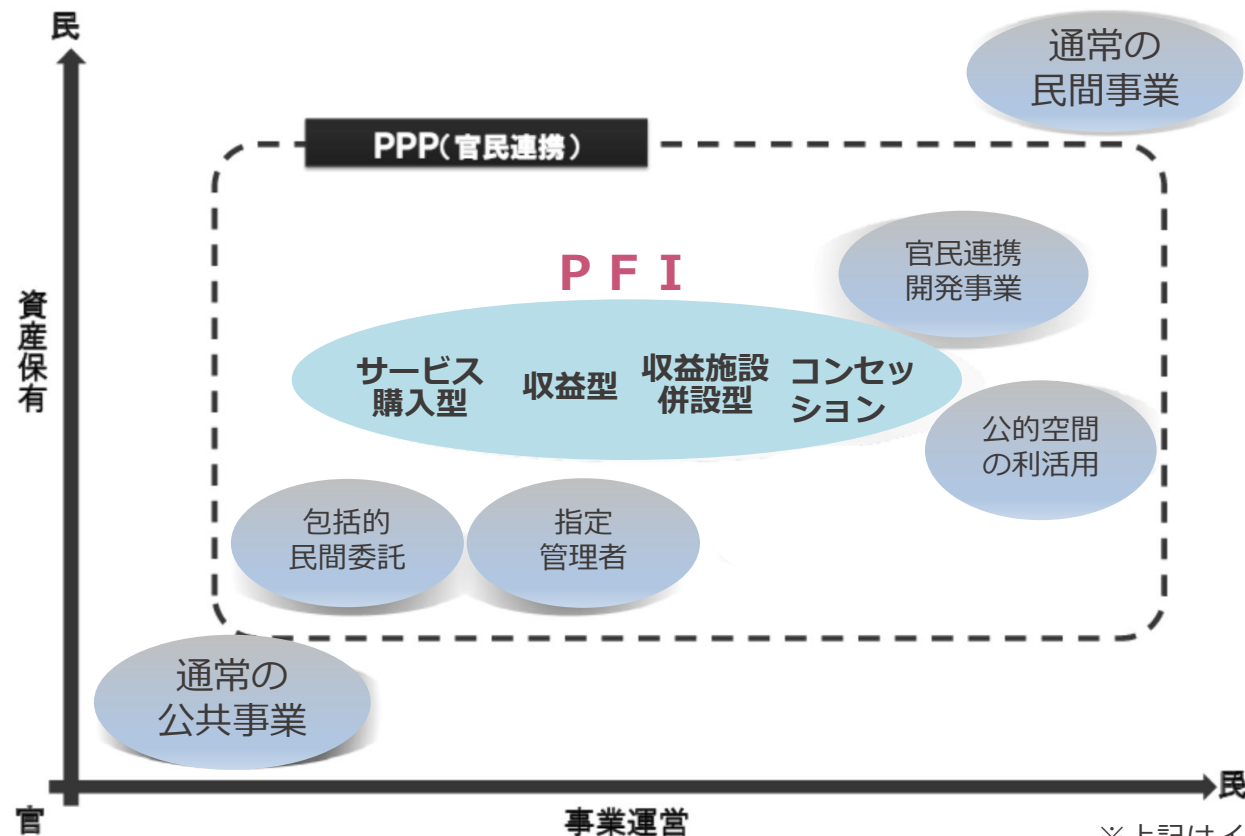
## 1 PPP (Public Private Partnership) とは

公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念。公共と民間が連携して、それぞれお互いの強みを生かすことによって、最適かつ効率的な公共サービスの提供を実現し、地域の価値や住民満足度の最大化を図るもの。

## 2 PFI (Private Finance Initiative) とは

公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、同一水準のサービスをより安く、または同一価格でより上質のサービスを提供する手法。

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づき実施される。



※上記はイメージであり、実際は事案により異なる。

# X 今後のスケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討委員会	第1回(委員長選任、 概要説明) ▼		第2回 ▼				第3回 ▼	

※令和5年度以降も継続して開催

## ※今後の検討委員会（予定）

### 【第1回（今回）】

#### 【概要説明】

- ・ 学校給食調理場整備事業について
- ・ 整備指針、整備計画について  
（本市調理場の現状・課題）
- ・ 検討委員会での協議・検討事項
- ・ 今後のスケジュール 等

### 【第2回（10月頃予定）】

#### 【建設候補地等説明】

- ・ 建設候補地の説明
- ・ 県内他市の状況説明
- ・ 事業方式について

### 【第3回（2月頃予定）】

#### 【今後の事業内容】

- ・ 基本計画（個別）の策定について
- ・ 導入可能性調査について